

### カルバメート系農薬の分析 (IV)

テクニカルインフォメーション No. 0005、0006および0017において、アイソクラチックモードによるカルバメート系農薬（オキサミル、メソミル、アルディカルブ、メトルカルブ、XMCおよびカルバリル）の分析を紹介しました。

今回は、グラジエントモードによるオキサミル、アルディカルブ、ペンダイオカルブ、カルバリル、エチオフェンカルブ、フェノカルブおよびメチオカルブ（溶出順）の各農薬を0.5 μg/ml (ppm)、10 μl 注入して得られたクロマトグラムを図-1に示します。この測定条件下での、最後に溶出するメチオカルブの検出限界はS/N=3で0.86 ng/ml (ppb) でした。

また、分析条件を含めたシステムフローを図-2に示します。

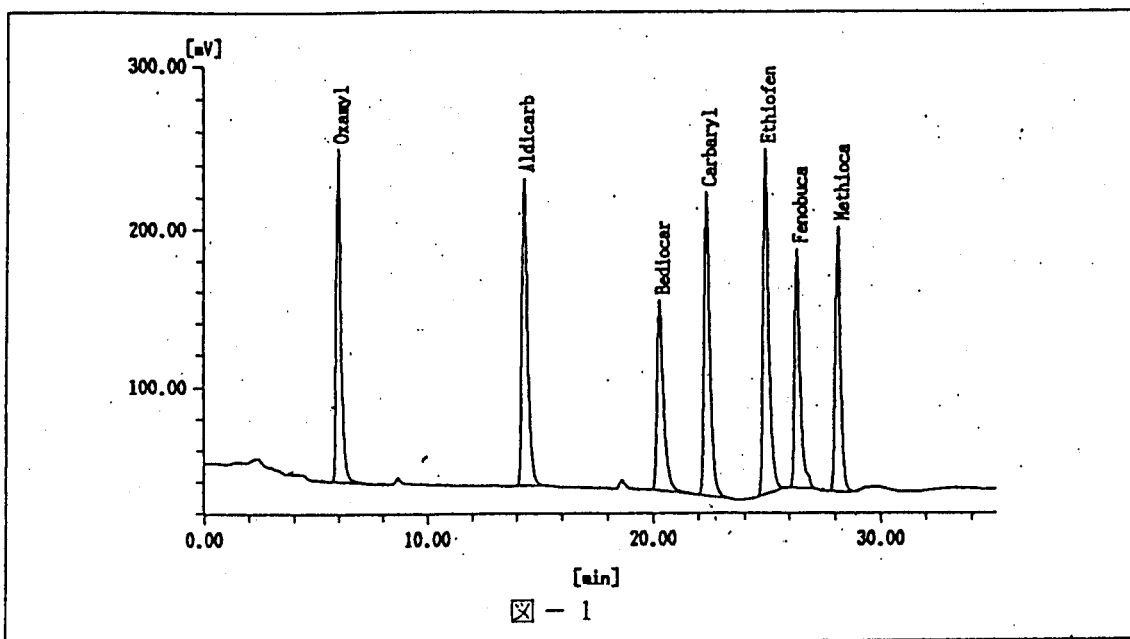


図-1

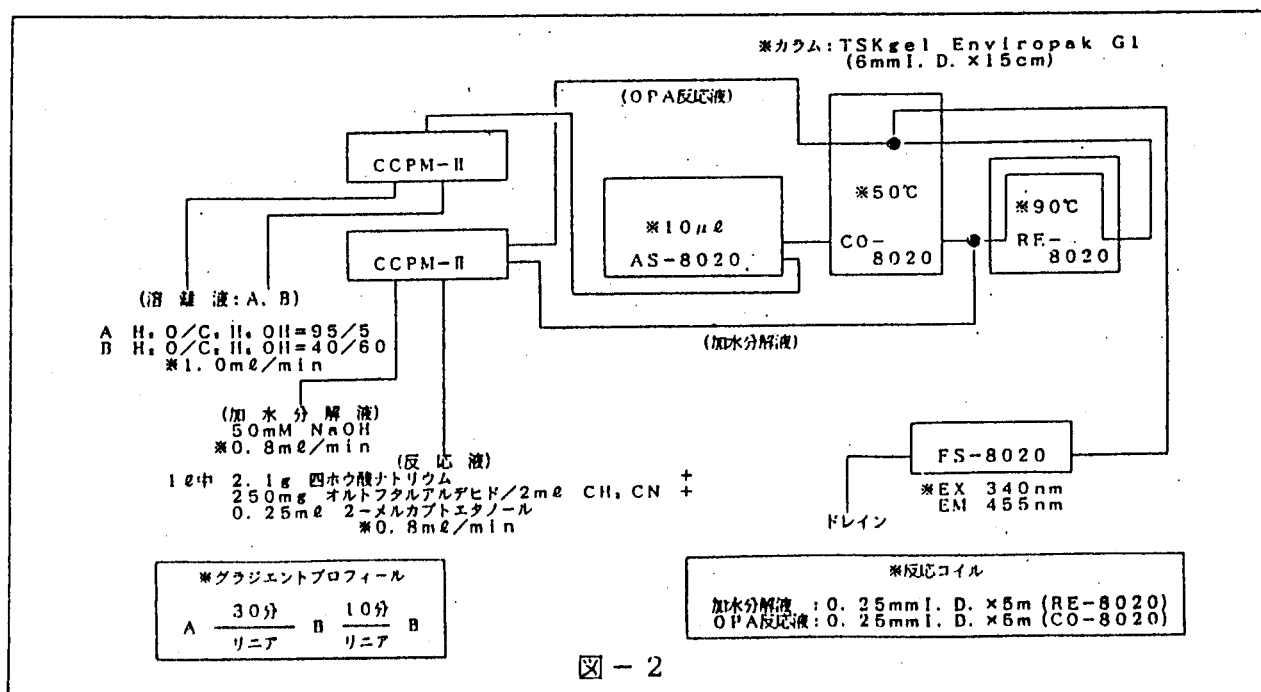
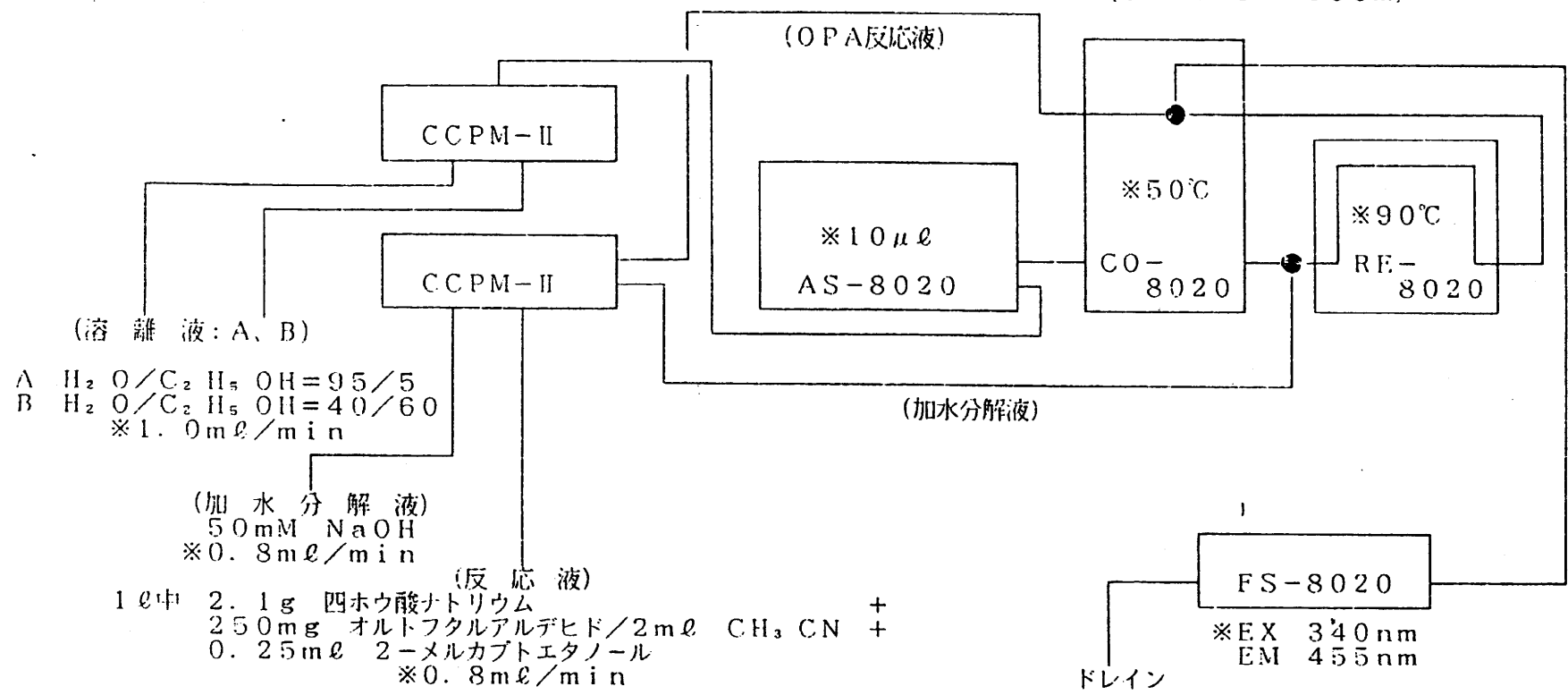


図-2

※カラム: TSKgel Enviropak G1  
(6mm I. D. × 15cm)



※グラジエントプロフィール

A	30分	B	10分	B
	リニア		リニア	

※反応コイル

加水分解液	: 0.25mm I. D. × 5m (RE-8020)
OPA反応液	: 0.25mm I. D. × 5m (CO-8020)